

【1 分解説】リセッションとは？

経済調査部 シニアエグゼクティブエコノミスト 新家 義貴

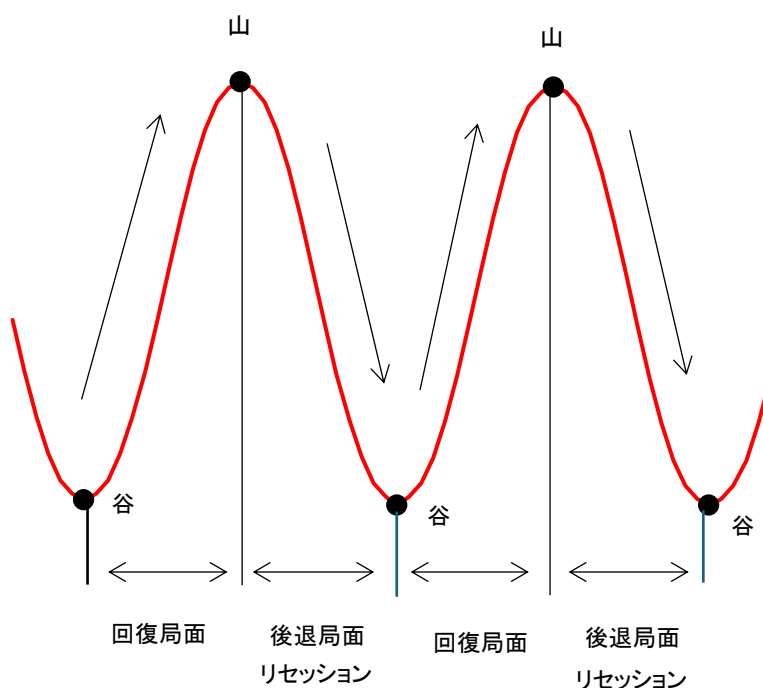
リセッションとは景気後退のことを指し、経済活動が下向きとなっている状態を意味します。景気は、良くなったり悪くなったりを繰り返しながら変動する性質があります。その中で、景気が最も良い時点を「景気の山」、最も悪い時点を「景気の谷」と呼んでおり、景気が山から谷へ向かうときがリセッションとなります（資料）。

米国では、正式なリセッションの判定は全米経済研究所が行います。実質個人消費支出や鉱工業生産高などをもとに総合的な判断が行われますが、判定には時間がかかります。そのため、簡便法として「2 四半期連続の実質 GDP マイナス成長」でリセッションとみなされることが一般的です。

日本では、内閣府が開催する景気動向指数研究会での議論を経て判定されます。景気動向指数をもとに作成されるヒストリカル DI のほか、景気悪化の波及度（Diffusion）、量的変化（Depth）、期間（Duration）などを勘案して判断されます。

現在、日米とも長期にわたる回復局面が続いています。しかし、足元ではトランプ関税による負担増で米国が今後リセッションに陥るとの見方も出ており、金融市場が動揺しています。仮に米国がリセッションとなった場合、日本も景気悪化は避けられません。トランプ大統領の一举手一投足に大きな注目が集まります。

資料 景気循環のイメージ図



（資料）第一生命経済研究所作成